



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ダイオーズ  
 コード番号 4653 URL <http://www.daiohs.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大久保 真一  
 (氏名) 丹治 勝秋

TEL 03-3438-5511

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	10,696	1.3	655	1.5	651	△2.4	341	△13.3
23年3月期第3四半期	10,562	△5.8	645	△7.3	667	△8.7	393	0.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 173百万円 (476.0%) 23年3月期第3四半期 30百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	25.45	—
23年3月期第3四半期	29.36	29.35

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	8,404	6,934	6,934	82.5	516.69	
23年3月期	8,461	6,961	6,961	82.3	518.77	

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 6,934百万円 23年3月期 6,961百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,220	0.9	958	11.9	975	10.9	537	53.0	40.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	13,439,142 株	23年3月期	13,439,142 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	19,152 株	23年3月期	19,152 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	13,419,990 株	23年3月期3Q	13,420,019 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間において当社グループは、以下のような施策を実行しました。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

#### ①日本部門

##### A. 組織

当第3四半期における組織は、4つの営業本部を中心に、開発生産本部、管理本部を加えた6本部と「経営企画室」を加えた7部門体制で臨みました。今期の重点課題の一つでもあります、提供するサービスの付加価値を高める事を目的としてスタートした「年中無休の365日営業体制」については、東京23区内を対象として、8月中旬に開設した「東京カスタマーセンター」が順調に稼働し、多くのお客様からの好評を得ております。今後は同様のサービスを全国に向けて拡大していく予定であり、顧客ニーズに対する迅速性を高め、更なる「顧客満足度」向上に努めてまいります。

##### B. 営業

販売商品毎の専門性を高め、顧客の求める価値に対してスピーディーに対応できる体制を整える事を目的にスタートさせた、商品毎のセールsteamは、その機能が十分に発揮され、拡販プロモーションにおいては、第1四半期からの第3四半期に至る迄、3四半期連続で、目標数値を大きく上回る成果を収める事ができました。「飲料部門」においては、今期のスタート時から、市場のニーズと連動し「ボトルウォーター」の拡販が引続き順調でした。「環境部門」においては、徹底した各拠点のドミナント化を促進し、営業社員の拡充と担当エリアを明確にし、地域密着営業を強化してまいりました。営業利益面におきましては、ボトルウォーター需要の高まりからウォーターサーバーの仕入が前年同期と比較して大きく増加し、又、拡販組織の拡充を目的に営業社員の増員を行った事から、販売促進費用が増加し、対前年同期比において減益となりましたが、売上については、販売促進費用を増加させた事の効果として、当期及び通期においても対前年同期比を上回る業績で順調に推移しております。

#### ②米国部門

##### A. 組織

当第3四半期では、前期に引き続き可能な限り人員を増やさずに生産性を高めるための各政策を実施しております。このため、特に大きな組織変更は行っておりません。

その一方、新拠点進出や拡大に備えるため、現状の3リージョン体制のうち米国中央部を管轄しているセントラルレイクス・リージョンを分割し、来期より4リージョン体制に移行する準備を開始しております。

##### B. 営業

2007年後半より米国の景気は停滞期に入りましたが、昨年より景気が底打ちをした状態となり、一進一退を繰り返しながら緩やかな回復に向かっていると判断しております。当社におきましては、特に進出して3年が経過したテキサスやコロラドなどの成長過程にある拠点などで販売数量が順調に増加しております。また、2011年8月にウィスコンシン州ミルウォーキー市場に自力進出、2011年10月にはコロラド州コロラドスプリングス市場とアイオワ州の2拠点にM&A進出を行いました。その結果、当第3四半期末時点での当社の営業拠点数は合計で11州33拠点となりました。一方、商品相場高騰の影響で当社の主力商品であるコーヒーの原価も2011年の前半には非常に大きく上昇しました。しかしながら、原価上昇分はほぼ販売価格に転嫁することができました。現在は相場は安定してきております。

これらを総合した結果として、当第3四半期での総売上高は前年同期比 110.3% (ドルベース) となりましたが、売上原価も上昇しているため、売上総利益としては前年同期比 106.5% (ドルベース) となっております。

一方で、経費面では拠点毎に利益を最大化できる「あるべき売上規模」を設定し、その規模に到達するように売上管理をする「モデル経営」を戦略的に導入いたしました。その結果、対前年比で売上や売上総利益の上昇率と比較して、人件費総額は前年同期比 100.9% (ドルベース) と抑制された上昇率になっており、経営の効率化に向けて順調な改善が進んでおります。また、2006年7月から8月に実行したシカゴやデトロイト市場での大型M&Aののれん償却が先の第2四半期を最後に完了した効果もあり、減価償却費総額が対前年比 80.2%と大幅減少しております

その結果、営業利益としては前年同期比 329.5% (ドルベース) と大幅増加し、増収増益路線に復帰しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は106億96百万円(前年同期比1.3%増)、売上総利益は61億65百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益は6億55百万円(前年同期比1.5%増)、経常利益は6億51百万円(前年同期比2.4%減)、四半期純利益は3億41百万円(前年同期比13.3%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて56百万円減少の84億4百万円となりました。主な要因は、「現金及び預金」が1億35百万円、「商品及び製品」58百万円、「機械装置及び運搬具」29百万円増加した一方、「のれん」が2億70百万円、「建設仮勘定」が1億8百万円、「繰延税金資産」(流動資産)が1億26百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて29百万円増加の14億70百万円となりました。主な要因としては、「短期借入金」が95百万円増加した一方、「賞与引当金」が22百万円、「未払費用」が18百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて27百万円減少の69億34百万円となりました。主な要因としては、「利益剰余金」が1億40百万円増加した一方で、「為替換算調整勘定」が1億67百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しており、第4四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成23年5月13日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,119,175	2,254,302
売掛金	1,278,659	1,317,176
リース投資資産	240,940	228,952
商品及び製品	439,590	497,980
仕掛品	4,496	5,001
原材料及び貯蔵品	63,865	63,617
繰延税金資産	215,455	88,650
その他	167,482	258,886
貸倒引当金	△59,504	△60,253
流動資産合計	4,470,160	4,654,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	660,312	667,554
機械装置及び運搬具（純額）	206,203	235,249
工具、器具及び備品（純額）	474,424	489,547
土地	744,249	740,462
建設仮勘定	108,780	—
有形固定資産合計	2,193,970	2,132,814
無形固定資産		
のれん	851,166	580,514
その他	162,870	246,995
無形固定資産合計	1,014,036	827,509
投資その他の資産		
投資有価証券	205,117	216,017
レンタル資産	203,721	211,724
繰延税金資産	213,744	215,245
その他	185,331	171,501
投資損失引当金	△24,467	△24,467
投資その他の資産合計	783,448	790,021
固定資産合計	3,991,455	3,750,345
資産合計	8,461,615	8,404,659

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	353,122	353,595
短期借入金	212,362	308,305
未払法人税等	69,299	58,591
未払費用	266,769	247,803
賞与引当金	99,847	77,485
その他	412,500	343,622
流動負債合計	1,413,901	1,389,404
固定負債		
繰延税金負債	38,194	33,639
資産除去債務	29,378	29,811
その他	18,226	17,768
固定負債合計	85,800	81,220
負債合計	1,499,701	1,470,625
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,051,135	1,051,135
資本剰余金	1,119,484	1,119,484
利益剰余金	5,594,455	5,734,737
自己株式	△7,937	△7,937
株主資本合計	7,757,136	7,897,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,776	2,336
為替換算調整勘定	△797,999	△965,720
その他の包括利益累計額合計	△795,223	△963,384
純資産合計	6,961,913	6,934,034
負債純資産合計	8,461,615	8,404,659

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	10,562,806	10,696,359
売上原価	4,326,697	4,531,245
売上総利益	6,236,108	6,165,114
販売費及び一般管理費	5,590,567	5,509,859
営業利益	645,541	655,254
営業外収益		
受取利息	417	810
受取配当金	5,184	6,458
仕入割引	14,073	13,142
その他	14,278	9,594
営業外収益合計	33,954	30,006
営業外費用		
支払利息	2,372	1,721
持分法による投資損失	3,320	24,426
為替差損	5,709	6,712
その他	490	518
営業外費用合計	11,892	33,379
経常利益	667,603	651,881
特別利益		
固定資産売却益	2,135	969
賞与引当金戻入額	2,935	—
特別利益合計	5,071	969
特別損失		
持分変動損失	553	—
固定資産売却損	432	88
固定資産除却損	500	1,489
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,328	—
特別損失合計	11,814	1,577
税金等調整前四半期純利益	660,860	651,273
法人税、住民税及び事業税	264,957	208,860
法人税等調整額	1,953	100,830
法人税等合計	266,911	309,691
少数株主損益調整前四半期純利益	393,948	341,582
四半期純利益	393,948	341,582



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	393,948	341,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△139	△439
為替換算調整勘定	△363,515	△171,501
持分法適用会社に対する持分相当額	△184	3,779
その他の包括利益合計	△363,839	△168,161
四半期包括利益	30,109	173,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,109	173,420

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,012,040	4,550,766	10,562,806	—	10,562,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53,634	—	53,634	△53,634	—
計	6,065,674	4,550,766	10,616,440	△53,634	10,562,806
セグメント利益	598,415	100,759	699,175	△53,634	645,541

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,120,735	4,575,623	10,696,359	—	10,696,359
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,612	—	48,612	△48,612	—
計	6,169,347	4,575,623	10,744,971	△48,612	10,696,359
セグメント利益	401,299	302,567	703,866	△48,612	655,254

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。